



工場の音環境を快適にしませんか？

スピーカーや放送端末の改善ソリューション



生産ラインが長く、
放送エリアの選択がややこしい...



工場管理者

機械が発する音が大きく
放送が聞こえない...



生産ライン担当者

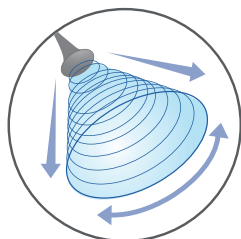
詳しくは内側で

課題① 騒音下での放送

生産ラインごとに放送内容を分けたいが、機械騒音に埋もれない音量で放送すると指示内容が混同してしまう。
また、スピーカー直下の作業員には音が大きく、ストレスになってしまう。

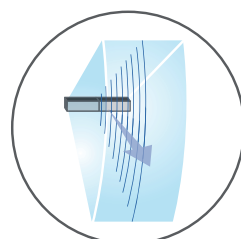
従来のスピーカー

音が正面方向へ均等に広がるため
放送を遠くまで届ける力が分散してしまう。
(聞き取りやすい距離: 10~30m 程)
また、音量を大きくすると
スピーカーの近くがうるさくなる。



高性能スピーカー

音の広がりを抑えることで
放送を届ける力を保ち、遠くまで放送を届けられる。
(聞き取りやすい距離: 100~150m)
また、大型機械などの障害物に対し
放送音が回り込むパワーを保持しており
複雑なラインにおいても、
放送が聞こえやすくなる。



課題② 放送の明瞭性

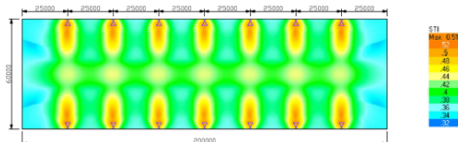
音が壁や大型機械で反響し、放送内容が伝わりづらい。
しかし、エリアを網羅するためには多数のスピーカーが必要となり設置、配線費用やメンテナンスの負荷が大きい。

従来のスピーカー

音量が小さく、音の重なりが発生
=スピーカーから離れると聞き取りづらい。
=全体をカバーするためには、多くのスピーカーが必要。

・明瞭度シミュレーション (SC-715AM)

条件: 入力 W 数 / 15W, 取付高度 / 5m, 取付角度 / 下向 15 度, 聴取高度 / 1.2m

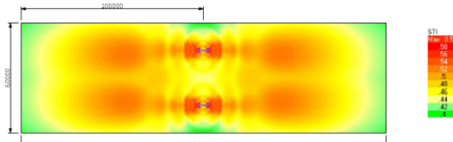


高性能スピーカー

カバーエリアが広く、音の重なりが少ない
=スピーカーから離れても聞き取りやすい。
=少ないスピーカーで広いエリアをカバーできる。

・明瞭度シミュレーション (HA-1000)

条件: 入力 W 数 / 50W, 取付高度 / 4m, 取付角度 / 下向 3 度, 聴取高度 / 1.2m



課題③ 放送業務の複雑化

エリアごとに放送を行いたい、細かく分けるほど放送設備が増え、事務所のスペースを圧迫する。
また設備を増やすと操作が複雑になり、扱いきれない。

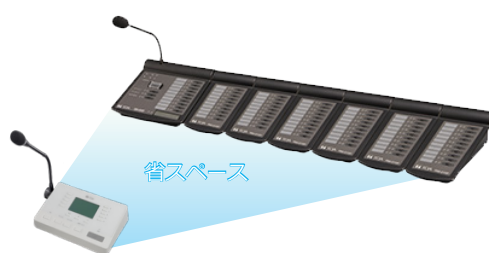
従来の放送設備

施設の増築やエリア細分化のたびに操作端末が増え
放送までの操作が複雑になり、設置場所も必要になる。



新しい放送設備

操作端末を最低限に、80局の放送先を選べます。
また、外部音源をインプットすることができるため
ボタン1つでラジオ体操などの音源の放送も可能です。



おすすめの機器をご紹介

高性能スピーカー

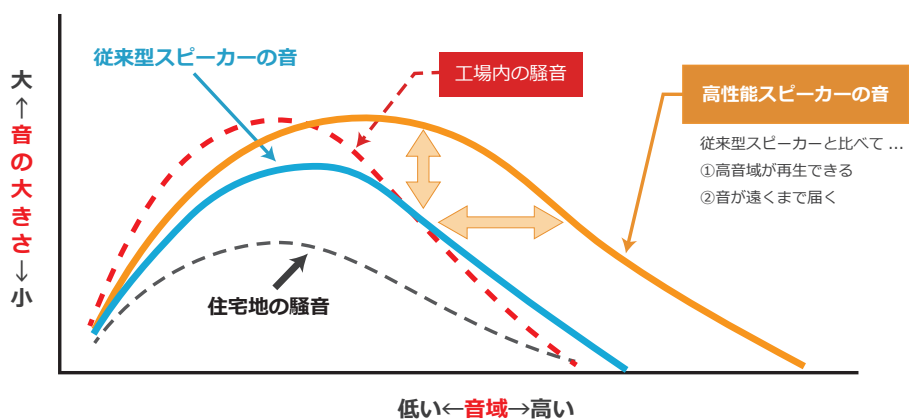
※本スピーカーは業務放送用途でご紹介です。非常用放送設備では、“非常用放送設備認定品”のスピーカーをご利用ください。

高性能スピーカーとは

工場内は機械や加工音など騒音が多く
従来のトランペット型スピーカーは、騒音と再生可能な音域が近い。
これにより機械駆動音等で放送音がかき消される（マスキング）の影響により、
放送音量を上げてでも明瞭に聞こえない。

また従来のスピーカーは音達距離が短く、多数のスピーカーを設置が必要なため、
音の重なりや反響が増えるという課題がある。

一方、高性能型スピーカーは騒音よりも高い音域を中心に再生し、
従来型スピーカーよりも音達エリアが広いので、少ない数で倉庫内をカバー可能。
これにより、音の重なりや残響が軽減できる。



※上図は効果を分かりやすくしたイメージです。

卓上リモートマイク



RM-500

卓上リモートマイクの特長

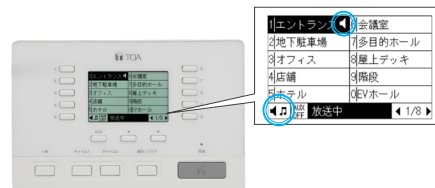
・マイク放送が聞き取りやすい

独自の音声明瞭化機能により
機械音や作業音など騒音多い場所でも、
放送内容が聞こえやすい。



・操作手順、放送状態がわかりやすい

液晶画面に放送場所のエリア名や、アイコンで
放送状態が表示され視覚的にわかりやすい。
また、操作しやすい順番にボタンを配置しており、
スムーズな操作を実現。



・外部端末の音源も簡単に放送可能

外部端末用の入力端子があるため、ラジオ体操や
お昼のチャイムなどの音源、電話機からの呼び出し
放送を手軽に行うことが可能。

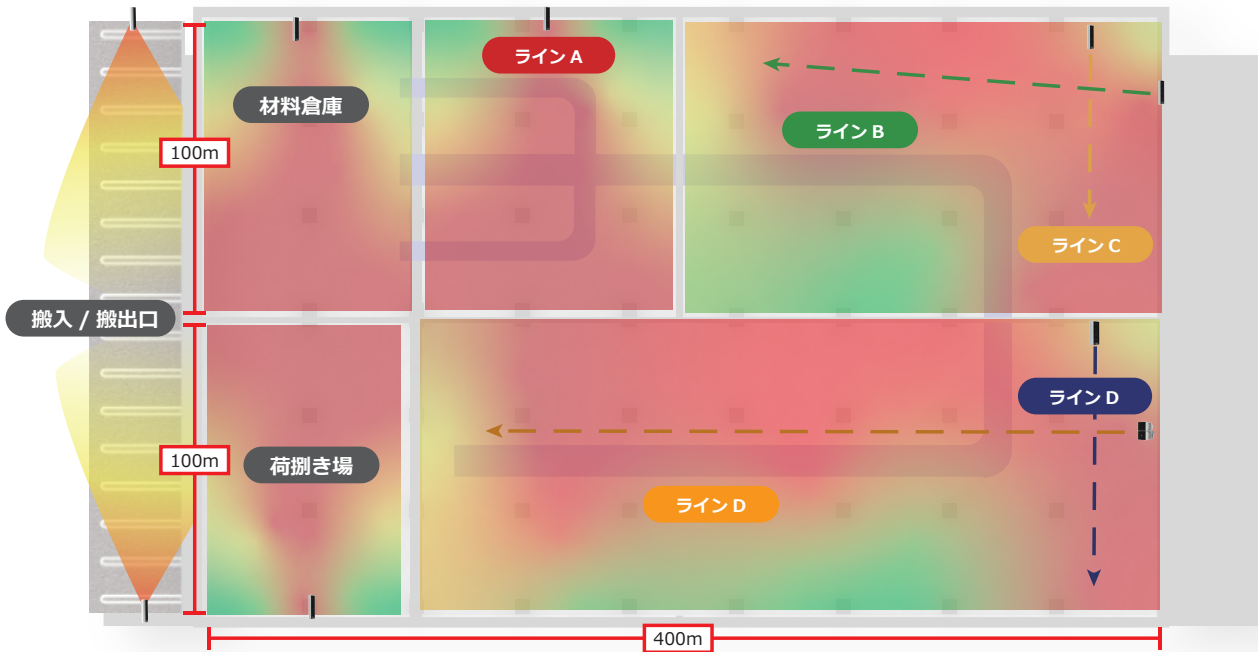
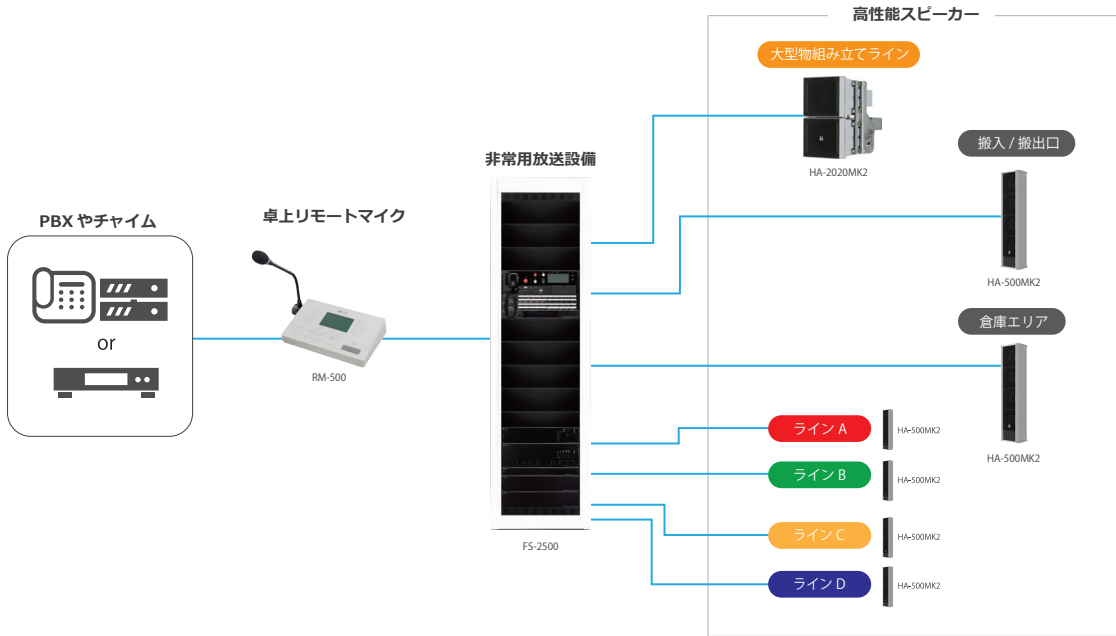


卓上だけでなく、壁へも取り付け可能

システム / 設置イメージ

非常用放送設備を活用した業務放送システムで、アナウンスや呼び出し放送を効率化。
また、卓上リモートマイク (RM-500) は、電話交換機やチャイム等の演奏機器を直接接続することができます。
放送したいエリアも簡単に選択できるため、従来のようなエリアやライン別の放送システム構築不要です。

※本スピーカーは業務放送用途のご紹介です。非常用放送設備では、"非常用放送設備認定品" のスピーカーをご利用ください。



※システムや配置図はイメージです。
実際の環境や用途に応じて、別途設計いたします。